

## 共同声明 ベネズエラ・ボリバル共和国 人民権力外務省及び人民権力防衛省

米南方軍のカート・ティッド司令官（海軍大将）は、地域的集団安全保障の理論を悪用してベネズエラを侵略することを予告する声明をだしている。ベネズエラ・ボリバル共和国は、これを断固として拒否し、抗議する。

カート・ティッド司令官は4月6日、「ベネズエラで進行中の人道危機は、いずれは地域レベルで対応しなければならなくなるだろう」と宣言した。こうした言明はベネズエラに疑念と不安定を作り出すことを目的としたもので、ベネズエラを包囲する一連の政府による干渉策動の一環である。彼らは偽りの事件を捏造しながら、メディアによる中傷キャンペーンや、米州機構（OAS）体制での詐欺的な手続きと一体となってこの策謀をすすめている。

これは実際、新しいことではない。ベネズエラへの干渉計画のスポークスマンや地域の計画実行者らが、我々の資源にたいする強欲な主張を正当化するために、わが祖国の平和に深刻な脅威を与えながら繰り返してきたのと全く同じシナリオである。

前任者であるジョン・ケリー将軍が2015年の末に行った同様に、ティッド司令官はベネズエラの政治・経済・社会的状況に関して偽りの意見を表明している。これは疑いの余地なく、人道的理由を引き合いに「地域レベルの対応」という口実を使うことによって、我々の領土への将来的な武力介入を正当化するための、よく知られた干渉と挑発のシナリオの一部である。その真の目的は他でもなく、合法的に樹立された政府の転覆である。

非常に懸念されるのは、こういった宣言が今この瞬間、つまりベネズエラに対する国際的で残酷な攻撃が、OAS事務総長と米政府に近い諸国の連合によって実行されている時に行われているということである。従ってこういった宣言が、我々の国民に対して展開されつつある同様に腹黒い支配計画の一部をなしていることには疑いの余地がない。

国連憲章並びにその原則と目的を破って、ベネズエラの主権と領土保全を侵害する計画が進んでいることについて、我々は国際社会の注意を喚起する。これは、わが祖国に対する重大な出来事に直面しての、我々のアメリカ（Nuestra América）の諸国民への呼びかけである。

ベネズエラ・ボリバル共和国は、諸国民の民族自決の原則に反するこの新たな干渉行動を拒否し、解放者たちの歴史的遺産の一部としての国家の自由・主権・独立を守る、ボリバル主義共和国の諸機関による断固たる決意を確認する。

2017年4月7日